

行政評価(施策評価シート)

1 基本項目

基本目標3	ふれあいと活力のあふれるまち
基本施策2	地域とともに歩む魅力ある産業の育成
施策22	観光
基本方針	
自然・歴史・文化などの観光資源の活用と、一年を通してまちの魅力を発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。	

2 指標(長期総合計画目標指標)

指標名		現状		H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	目標値 (平成28年度)
指標1	動物公園入園者数	23.7万人	(平成22年度)	22.8万人	22.2万人	22.2万人			30万人
指標2	年間の総入込観光客数	86.6万人	(平成18年度)	78.4万人	-	-			95万人
指標3	市ホームページ(観光関係)のアクセス数	54,000件	(平成22年度)	47,013件	72,754件	97,020件			72,000件

3 施策を構成する事務事業の実施・評価結果

No	事業名	平成26年度実施結果			評価(所管課長)				指標に係る重点事務事業
		決算/円	執行率	進捗状況	妥当性	効率性	有効性	方向性	
1	観光資源の発掘	-	-	計画どおり完了	○	○	○	A	
2	羽村PR作戦の推進	6,252,042	95.5%	計画どおり完了	○	○	○	A	*
3	各種イベントの充実	23,550,000	100.0%	計画どおり完了	○	○	○	A	*
4	観光協会活動への支援	14,332,000	100.0%	計画どおり完了	○	○	○	A	
5	産業振興計画の策定及び推進	684,876	82.1%	計画を見直し完了	○	○	○	A	

4 施策評価

① 施策の評価

市では、はむら花と水のまつり、はむら夏まつり、産業祭等の各種イベントや、多摩川、羽村の堰などの自然、歴史景観、レジャー施設としての動物公園など、観光資源を活用した事業を進め、また観光協会、商工会と連携して観光案内所にて観光客のおもてなしを図り、地域がにぎわう観光の振興を努めてきた。しかし指標1の動物公園の入園者数はほぼ横ばいで推移しており、施策を構成するNo3の各種イベントの事業についても、前年と比較し各イベントごとに多少の増減はあるものの、観光客数は横ばいに推移している。また、指標の2、年間の総入込観光客数は平成24年度の実績では、低下しており、既存の観光について、訪れる人がより楽しめるよう更なるイベントの充実を図っていく必要がある。

市ではこうした既存の観光だけではなく、福生市・昭島市と連携した広域的な観光振興の調査、研究を行い、新しい観光資源の発掘にも力を入れた。また、市の公式キャラクターはむりんを活用した市の観光PRなどまちの魅力を年間をとおり情報発信し、市公式サイト(観光関係)のアクセス件数を指標3のとおり年々増加させることができた。

② 今後の方向性(改善への取組み等)

今後の事業の取組みについては、既存のイベントの更なる充実を図り、時代のニーズに合った新たなイベントを開催し、新たな観光資源の発掘にも力を入れ、土木学会選奨土木遺産に認定された羽村取水堰の活用など、関係各所と調整して市の認知度向上に向けて取組み、関係機関と連携を密にしながら市を挙げてPR作戦の推進を行っていく。

平成26年度【基本シート】

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
1	観光資源の発掘	不明 年	継続	自治事務	直営	
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	22	観光	事業番号 1

2.事業の概要

事業内容	観光資源の発掘と活用について、観光協会や商工会等と研究を進めます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.成果指標

成果目標	観光事業の推進
------	---------

4.活動指標

Plan【計画】	平成25年度(現況)	3か年計画		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業内容 事業量等	観光資源の発掘・研究 3市(福生市・昭島市・羽村市)観光連携事業 観光ツアー企画会議 モニターツアー 25人 プレスツアー 10人	観光資源の発掘・研究 3市(福生市・昭島市・羽村市)観光連携事業 観光ツアー企画会議	観光資源の発掘・研究 3市(福生市・昭島市・羽村市)観光連携事業 観光ツアー企画会議	観光資源の発掘・研究

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	34 H	1人	34 H	1人	34 H	1人	34 H
主事・主任職	2人	34 H	2人	34 H	2人	34 H	2人	34 H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	0	0	0	0
人件費(係長職)	174	171	171	171
人件費(主任・主事職)	251	247	247	247
総事業費(合計)	425	418	418	418
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	425	418	418	418
財源内訳(合計)	425	418	418	418

③コスト計算

ア 市民	56,732	人における1人あたりのコストは、	7	円
イ 対象者		人における1人あたりのコストは、		円
ウ 成果物		の 出来高		円
※対象者				円

Do(実行) 【進行管理】

6.実施結果(活動指標と投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか)

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

観光資源の発掘と活用について、観光協会や商工会、3市観光連携事業等で調査・研究を行った。具体的には、3市観光連携事業でモニターツアーやクイズラリー、JR各駅に掲示するポスターの作製などを行い、観光資源のPR(活用)を図り、新たな観光客の発掘に努めた。

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	0		0		-

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
観光事業の推進に向けて、観光資源の発掘と活用について、観光協会や商工会、3市観光連携事業等で調査・研究した。	観光事業の推進に向けて、観光資源の発掘と活用について、観光協会や商工会、3市観光連携事業等で調査・研究を行った。今年度実施したモニターツアー参加者やJRポスターを見た方々が桜やチューリップの時期に訪れていただくなど、観光客の誘致に効果があった。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

Check(評価)

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性 (必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性 (手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性 (成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】		高 [妥当性・有効性]	高 [効率性]	今後の方向性					
低	<table border="1"> <tr> <td>B:事業の進め方の改善の検討</td> <td>A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table>	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討		高	A
B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当								
C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討									
D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討									
		低							

③事務事業から導かれる今後の方向性と課題

評価(所管課長)

今後も関係機関と協議しながら観光資源の発掘に取り組み、観光事業の推進を図る。

平成26年度【基本シート】

1.基本項目		作成部署	企画総務部			広報広聴課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
2	羽村PR作戦の推進	平成 25 年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	○
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課		産業課・企画政策課				
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	22	観光	事業番号
						2

2.事業の概要

事業内容	映画やテレビなどのロケーション誘致や羽村市公式キャラクターはむりんを活用し、羽村市のPRに取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市でのロケ撮影におけるガイドライン

3.成果指標

成果目標	施設側とロケ撮影者側の調整を図り、ロケ撮影の実現件数の増加を目指す。
------	------------------------------------

4.活動指標

Plan【計画】	平成25年度(現況)	3か年計画		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業内容 事業量等	シティプロモーション会議準備会	シティプロモーション会議準備会 シティプロモーション会議の立ち上げ	シティプロモーション会議	シティプロモーション会議
	ロケ撮影のコーディネート(ロケ撮影数 15件)	ロケ撮影のコーディネート(ロケ撮影数 20件)	ロケ撮影のコーディネート(ロケ撮影数 20件)	ロケ撮影のコーディネート(ロケ撮影数 20件)
	ロケ撮影に関するマニュアルの作成			
	はむりんのイベント出演(36件)	はむりんのイベント出演(50件)	はむりんのイベント出演(50件)	はむりんのイベント出演(50件)
	はむりんを活用したPRグッズの展開(承認18件)	はむりんを活用したPRグッズの展開・商標登録(新規承認10件)	はむりんを活用したPRグッズの展開・商標登録(新規承認10件)	はむりんを活用したPRグッズの展開・商標登録(新規承認10件)
	はむりんの歌と踊りの製作・活用	はむりんの歌と踊りの活用	はむりんの歌と踊りの活用	はむりんの歌と踊りの活用

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	107 H	2人	79 H	2人	42 H	2人	42 H
主事・主任職	1人	198 H	3人	127 H	1人	210 H	1人	210 H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	2,640	6,550	3,778	3,778
人件費(係長職)	1,086	795	416	416
人件費(主任・主事職)	729	1,379	762	762
総事業費(合計)	4,725	8,724	4,956	4,956
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	750	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	4,725	7,974	4,956	4,956
財源内訳(合計)	4,725	8,724	4,956	4,956

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果物 の出来高 のコストは 円
 ※対象者

平成26年度【事後評価】

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(活動指標と投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

ロケ撮影をコーディネートし、26件の撮影が行われた。また、はむりんのイベント出演は85件となり、制作した歌とダンスを活用するとともに、はむりんグッズを販売して羽村市のPRを図った。

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	6,550,000		6,550,000	6,252,042	95.5%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
ロケ撮影をコーディネートして15件の撮影が行われた。また、はむりんは37件のイベントに出演した。	ロケ撮影は、前年度の15件から26件に増加した。また、はむりんのイベント出演件数も前年度の37件から大幅に増加し、85件となった。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値
ロケーション撮影	20	26

Check【評価】

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

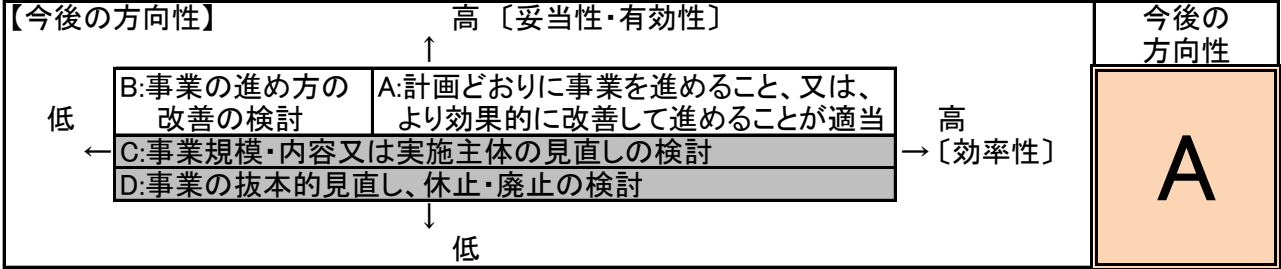
8.評価

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性 (必要性)	<ul style="list-style-type: none"> ・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか 	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性 (手法)	<ul style="list-style-type: none"> ・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか 	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性 (成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の目標が達成されているか 	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)



③事務事業から導かれる今後の方向性と課題

<p>評価(所管課長)</p> <p>本年度は、成果結果のとおりだが、ロケ撮影の受け入れ施設担当課等に、羽村市のPR作戦の推進に対する理解を一層深めてもらい、市を挙げてPRできる体制の強化を図ることとする。</p>

平成26年度【基本シート】

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
3	各種イベントの充実	年				
01	夏まつり	昭和 51 年	継続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	
02	観蓮会	平成 4 年	継続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	
03	ふるさと祭り	平成 13 年	継続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	
04	産業祭	昭和 45 年	継続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	
05	花と水のまつり	平成 14 年	継続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	
関連課						
基本目標 3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	22	観光	事業番号	3

2.事業の概要

事業内容	夏まつりや産業祭等のイベントについて、事業内容の充実を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市補助金等交付規則

3.成果指標

成果目標	産業振興と地域の活性化への支援
------	-----------------

4.活動指標

Plan【計画】	平成25年度(現況)	3か年計画		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業内容 事業量等	イベント内容の充実 夏まつり 200,000人 観蓮会 300人 ふるさと祭り 26,000人 産業祭 80,000人 花と水のまつり 130,000人	イベント内容の充実 夏まつり 観蓮会 ふるさと祭り 産業祭 花と水のまつり	イベント内容の充実 夏まつり 観蓮会 ふるさと祭り 産業祭 花と水のまつり	イベント内容の充実 夏まつり 観蓮会 ふるさと祭り 産業祭 花と水のまつり

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	939 H	1人	939 H	1人	939 H	1人	939 H
主事・主任職	2人	1,856 H	2人	1,856 H	2人	1,856 H	2人	1,856 H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	23,550	23,550	23,550	23,550
人件費(係長職)	4,785	4,705	4,705	4,705
人件費(主任・主事職)	13,657	13,464	13,464	13,464
総事業費(合計)	41,992	41,719	41,719	41,719
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	41,992	41,719	41,719	41,719
財源内訳(合計)	41,992	41,719	41,719	41,719

③コスト計算

ア 市民	56,732	人における1人あたりのコストは、	735	円
イ 対象者		人における1人あたりのコストは、		円
ウ 成果物		の出来高		円
※対象者				円

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(活動指標と投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

夏まつりや産業祭等のイベントに多くの来場者を迎えて実施した。

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	23,550,000		23,550,000	23,550,000	100.0%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
夏まつりや産業祭等のイベントに多くの来場者を迎えて実施し、産業振興と地域の活性化を図った。 夏まつり 200,000人、観蓮会 300人 ふるさと祭り 26,000人、産業祭 80,000人 花と水のまつり 130,000人	夏まつりや産業祭等のイベントに多くの来場者を迎えて実施し、産業振興と地域の活性化を図った。 夏まつり 200,000人 観蓮会 300人 ふるさと祭り 31,000人、産業祭 75,000人 花と水のまつり 190,000人

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

Check【評価】

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性 (必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、 事業の必要性はあるか	○
効率性 (手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の 経費・労力で事務が執 行されているか	○
有効性 (成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れて いるか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】		高 [妥当性・有効性]	高 [効率性]	今後の方向性					
低	<table border="1"> <tr> <td>B:事業の進め方の改善の検討</td> <td>A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table>	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討		高	A
B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当								
C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討									
D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討									
		低							

③事務事業から導かれる今後の方向性と課題

評価(所管課長)

今後も産業振興と地域の活性化を図るために、夏まつりや産業祭等のイベントのより一層の充実を図る。

平成26年度【基本シート】

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
4	観光協会活動への支援	昭和 53 年	継続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	22	観光	事業番号 4

2.事業の概要

事業内容	観光協会が行う観光振興事業に対して、補助金を交付するなどの支援を行います。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市補助金等交付規則

3.成果指標

成果目標	観光協会が実施する観光事業への支援
------	-------------------

4.活動指標

Plan【計画】	平成25年度(現況)	3か年計画		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業内容 事業量等	補助金の交付 運営支援	補助金の交付 運営支援	補助金の交付 運営支援	補助金の交付 運営支援
	観光資源PR等の事業支援	観光資源PR等の事業支援	観光資源PR等の事業支援	観光資源PR等の事業支援
	法人化に向けた支援	法人化に向けた支援	法人化に向けた支援	法人化に向けた支援
	観光案内所の開設支援	観光案内所の開設期間延長の支援	観光案内所の開設期間延長の支援	観光案内所の開設期間延長の支援

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	11H	1人	11H	1人	11H	1人	11H
主事・主任職	2人	12H	2人	12H	2人	12H	2人	12H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	14,332	14,332	14,332	14,332
人件費(係長職)	57	56	56	56
人件費(主任・主事職)	89	88	88	88
総事業費(合計)	14,478	14,476	14,476	14,476
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	14,478	14,476	14,476	14,476
財源内訳(合計)	14,478	14,476	14,476	14,476

③コスト計算

ア 市民	56,732	人における1人あたりのコストは、	255	円
イ 対象者		人における1人あたりのコストは、		円
ウ 成果物		の出来高		円
※対象者				円

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(活動指標と投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか)

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

観光協会が行う観光振興事業に対して、補助金の交付と人的支援を行った。
花と水のまつりの開催、花いっぱいコンクールの実施、また観光案内所の開設・運営期間を花と水のまつりの期間だけでなく新緑を楽しむ5月末日まで延長した。

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	14,332,000		14,332,000	14,332,000	100.0%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
観光協会が行う観光振興事業に対して、補助金の交付と人的支援を行うことによって、観光振興を図った。 花と水のまつりでは多くの来場者が訪れるため、安全にもてなす。 観光案内所の開設を行うことにより、多くの観光客への利便を図った。	観光協会が行う観光事業に対して、補助金の交付と人的支援を行うことによって、観光振興を図った。 花と水のまつりについては、天候に左右される一面もあるが、前年以上の多くの来場者を安全にもてなし、また、観光案内所の開設期間を延長して、前年以上の観光への利便が図られた。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

Check【評価】

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性(必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性(手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性(成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】		今後の方向性
高 [妥当性・有効性]		A
↑	高	
低	← [効率性] →	
低		

B:事業の進め方の改善の検討 A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当

C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討

D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討

③事務事業から導かれる今後の方向性と課題

評価(所管課長)
今後も観光協会が行う観光振興事業に対して、補助金の交付と人的支援を行うことによって、観光振興を図る。

平成26年度【基本シート】

1.基本項目		作成部署	産業環境部		産業振興計画担当	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
5	産業振興計画の策定及び推進	平成 23 年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課						
基本目標 3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	22	観光	事業番号	5

2.事業の概要

事業内容	商業・工業・農業・観光の施策を地域の特性に即して体系的に取りまとめ、計画的に市内の産業振興を強力に推進します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.成果指標

成果目標	「工業」、「商業」、「農業」、「観光」の各産業分野が相乗的に交わる具体的かつ実効的な計画を策定する。
------	--

4.活動指標

Plan【計画】	平成25年度(現況)	3か年計画		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業内容 事業量等	策定に関する調査・研究	計画策定会議 審議会 4回 部会 4部会 計画の策定	計画の推進	計画の推進

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	54 H	1人	1,883 H	1人	988 H	1人	93 H
主事・主任職	0人	0 H	0人	0 H	0人	0 H	0人	0 H

②総事業費

事業費の内訳 (単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	0	3,406	0	0
人件費(係長職)	276	9,434	4,950	466
人件費(主任・主事職)	0	0	0	0
総事業費(合計)	276	12,840	4,950	466
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	276	12,840	4,950	466
財源内訳(合計)	276	12,840	4,950	466

③コスト計算

ア 市民	56,732	人における1人あたりのコストは、	226	円
イ 対象者		人における1人あたりのコストは、		円
ウ 成果物		の 出来高		円
※対象者				円

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(活動指標と投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか
 ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

市内産業関係者、公募市民等から成る産業振興計画策定懇談会の開催、産業関係団体等へのヒアリングの実施等により、広く市民・事業者等の意見を聴き、計画案を作成した。

産業振興計画策定懇談会 7回
 産業振興計画策定庁内検討委員会 7回
 産業振興計画策定庁内検討委員会作業部会 6回
 産業関係団体等へのヒアリング 11団体 延117人

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	3,406,000	▲ 2,572,000	834,000	684,876	82.1%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
前産業振興計画は計画期間平成15～23年度の計画であり、市内産業活性化に一定の成果をあげた。策定以降、社会経済情勢が大きく変化するとともに、新たな課題も顕在化し、実効性のある新たな産業振興計画の策定が求められていた。	工業・商業・農業・観光の各産業分野の具体的な施策についての検討も行き、各産業分野を合わせた一元的な計画とする産業振興計画案を作成することができた。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

Check【評価】

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性 (必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性 (手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性 (成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】		今後の方向性
高 [妥当性・有効性]		A
↑	高 [効率性]	
低	低	
←	→	
B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	
C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討	D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討	

③事務事業から導かれる今後の方向性と課題

評価(所管課長)
平成26年度に作成した計画案をもとに、平成27年度中に計画策定し、産業振興施策の計画的な推進を図っていく。